

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	水道局	中村浩二

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	【基本理念】 安全でおいしい水をいつまでも ～信頼される水道をめざして～
2	〔基本方針〕 1 安全・安心 ― いつまでも安心して飲める水道水の提供 2 持続 ― 健全で安定的な事業運営 3 環境対策 ― 環境にやさしい取組 4 サービスの推進 ― お客様満足度の高い信頼される水道事業の推進
人材育成・内部統制	〔人材育成〕 《行動理念》 自らが動き模範となるとともに、管理職員と協力・連携して、水道職員の人材育成に努める。 ～目指すべき職員像～ 1 熱意ある職員 広い視野と柔軟性を持ち、積極的に水道事業の課題に挑戦する。 2 誠意ある職員 水道職員として高い倫理観を持ち、自ら研鑽に努め、市民の感覚や視点を持ち、市民の信頼と期待に応える。 3 創意する職員 社会経済情勢を的確に捉え、長期的視点に立って水道事業の将来を考える。 コスト意識を持ち、適正な改善・改革に取り組み、水道事業の経営感覚を持つ。 〔内部統制〕 各課において、事務処理チェックリストを作成し、業務におけるリスクの洗い出しと具体的な対応策を整理。業務マニュアルや手引きなど随時更新を行い、根拠法令等に基づいた業務処理を適切に進める。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	総務企画課	濱原資彦

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

水道事業が円滑に進むように組織・機構の確立に努め、経営の安定を図る。
各課の主要施策が確実に実行されるように、連携を密にするとともに協力体制を整える。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	防災訓練を体験してもらうことにより、コミュニティでの防災意識の向上を図る。	個別計画(宇部市水道事業総合計画)	危機管理体制の充実 (住民参加型防災訓練の実施件数【地区】)	8地区	5地区	8地区	
2	デジタル技術を活用し、業務の効率化を図る。	個別計画(宇部市水道事業総合計画)	デジタル技術の 業務活用件数【件】	10件	10件	10件	
3	安全で安心できる水道水について、理解と関心を深める。	個別計画(宇部市水道事業総合計画)	水道水PR活動 (PR活動件数【件】)	34件	21件	34件	
人財育成	メンタルヘルスケアによる心の健康と健全な職場をつくる。	その他					
内部統制	事務事業の決裁起案に根拠関連法令等の記載及び決裁時におけるチェックリストによる確認を徹底する。	その他					

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	財務課	礒部 覚

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

水道事業が将来に向けサービス水準を維持できるよう、財政基盤の強化に努め、経営の安定を図る。
入札、契約業務の適正な履行により、入札機会の均等に努めるとともに、適正な競争を通じて効率的な事業運営に繋げる。
工事の適切かつ能率的な施工の確保及び工事に関する技術水準の向上及び建設業の健全な発達に資することを目的とする「品確法に基づく技術検査」を行う。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	予算執行方針及び編成方針の徹底(規律ある財政運営)による経営の安定	個別計画(水道事業総合計画)	経常収支比率【%】	R7 100.0%以上	103.66%	100.0%以上	—
2	企業債の適正借入(固定負債の増加抑制)による財政基盤強化	個別計画(水道事業総合計画)	企業債残高対給水収益比率【%】	R8 280.21%未満	284.80%	278.10%未満	—
3	工事完成検査の早期実施による受注者への工事代金の早期支払い	個別計画(水道事業総合計画)	工事完成報告の翌日から7日以内の検査実施率【%】	R7 100%	100%	100%	—
人財育成・内部統制	次世代・次々世代の経理担当者及び契約検収事務担当者の育成 契約検収事務チェックリストの活用による事務手続ミス防止	その他					

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	営業課	田中則之

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

水道料金及び下水道使用料の正確な調定を行うとともに、料金収納率の向上と上下水道の使用に関し、常にお客様目線に立った、親切丁寧な対応と接遇能力の向上に努める。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	ライフスタイルに合わせた収納機会の確保による早期回収に努めることで、水道料金収入の確保を図る。	その他	現年度収納率(%) (翌年度5月末見込み)	R8年度末 99.51%	99.48%	99.50%	
2	公共下水道西部処理区コンセッション事業開始に伴うシステム改修及び帳票類の変更	その他	システム改修等進捗率 (%) (R8年4月1日運用開始)	R7年度末 100%	—	100%	
3	営業課における既存業務を見直し、水道使用者の公平性を確保するとともに経営コストの削減を目指す。	その他	既存業務の見直し数(件)	R9年度末 3件以上	—	1件以上 見直しに着手	
人財育成・内部統制	内部統制チェックリストを課内に浸透させ、凡事徹底が課の組織風土となるように職員を育成する。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	上水道整備課	久保 勉

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

安全・安心な水道水を配水池から各家庭の蛇口まで、断水等ないよう安定的に給水する。
施設が老朽化するなかで、漏水状況等を勘案し、優先順位を付けながら地震等災害に対応しうる施設を構築する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	管路の耐震化を推進することで、地震等の災害に強い施設を構築し安定供給を確保	個別計画(水道事業総合計画)	全管路耐震適合率(%)	31.8% (R8)	30.2%	31.0%	—
2	漏水防止対策を強化し有収率の向上	個別計画(水道事業総合計画)	有収率(%)	92.0% (R8)	87.45%	92.0%	—
3	水道利用者の安心・安全・安定的な水の供給	個別計画(水道事業総合計画)	直結給水率(%)	96.1% (R8)	95.9%	96.0%	—
人財育成・内部統制	新入職員に職場内研修を実施し育成を図る。 決裁時の書類チェックの徹底	その他	—	—	—	—	—

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	浄水課	山本晃広

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

安心して使用できる安全でおいしい水を安定的に供給するため、浄水施設の健全化・運転の適正化・水質管理の徹底を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	ろ過閉塞対策としてろ過池の複層化を行い、安定給水を持続	個別計画 (重要施設更新計画)	広瀬浄水場更新施設数 (累計) ・2系急速ろ過池複層化工事 (8池を2、3、3池と分け3箇年で施工) ・その他施設更新工事 (R5年度までに2箇所済)	3箇所	2箇所	2箇所	
2	制御盤の機器や部品の更新を行い、中央監視や自動制御による安定給水を持続	個別計画	市内配水池など23施設の 制御盤更新	23施設	なし	23施設	
3	塩素酸の低減化を行い安全な水道水を供給(水質基準値0.6mg/L)	個別計画	市内末端給水栓での塩素 酸の低減	水質基準値 50%以下	水質基準値 52%	水質基準値 50%以下	
人財育 成・内 部統制	決済時チェックリストの徹底 浄水処理に係る技術者の育成(電気・運転・維持管理・水質)						